



KADOMA PHOTO NEWS



1月18日、ルミエールホールで関西フィルハーモニー管弦楽団「華麗なるニューイヤーコンサート」が開催されました。門真情熱大使の藤岡幸夫さんの指揮で、映画やテレビのヒットナンバーや人気クラシック作品が演奏され、ソプラノ歌手・野々村彩乃さんによるオペラのアリアや歌の名曲が披露されました。

藤岡さんの門真愛溢れるトークをはさみつつ、最後は恒例の「威風堂々第1番」とアンコール「ラデツキー行進曲」で終幕。新年にふさわしい華やかなひとときとなりました。



1月18日、パナソニックベースボールスタジアムで「第3回パナソニック杯」が開催され、市内少年野球チームに所属する小学生5・6年生66人が熱戦を繰り広げました。子どもたちは、パナソニック野球部の選手たちと笑顔で交流し、野球を楽しみました。



1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、三ツ島神社で火災が発生した想定で、門真消防署と門真市消防団第二方面隊上三ツ島分隊が連携し、消火訓練と文化財搬出訓練を実施しました。



12月5日、関西フィルの総監督・首席指揮者で門真情熱大使の藤岡幸夫さんが、かどま大学特別講座「クラシックコンサートがもっともっと面白くなるコツ」を開講しました。

華麗なるニューイヤーコンサートの事前講座として、藤岡さんがコンサートの裏側や楽曲に秘められた思いを語り、その後、リハーサル見学を実施。

受講者からは「敬遠していたクラシックに親しみが持てた」との声が上がるほど、クラシックの魅力が伝わっていました。



2月17日、保健福祉センターで「かどまママパパ教室」を開催しました。栄養士や歯科衛生士からの話を聞き、赤ちゃんの人形を用いた沐浴練習では、保健師が指導しました。

ママもパパも赤ちゃんに会える日を心待ちに準備を進めていました。7年度もかどまママパパ教室を開催予定です。かどまで一緒に子育てしませんか。



1月17日、市民プラザで「災害から学ぶ門真の歴史」が開講されました。これは1944年に大阪で甚大な被害をもたらした室戸台風の襲来から90年を迎えた節目として開催されたものです。

大阪国際大学の村田隆志教授が過去の資料や写真、データを見せながら、襲来当時の北河内に与えた被害を伝えました。

また、開講当日は阪神・淡路大震災の発生から30年の節目でもあり、神戸で被災した村田教授の実体験や被災者目線の防災知識も語られました。参加者からは、台風や南海トラフ地震での行動など、備えへの意識を高める質問が寄せられました。